

講義科目名称： 小児看護学 I

授業コード： 2230200500

英文科目名称： Child and Family Health Nursing I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎大久保明子、◎山田恵子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎大久保 明子</p> <p>◎山田 恵子</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【研究室】 207</p> <p>215</p> <p>【メールアドレス】</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP 1】 ○</p> <p>【DP 2】 ◎</p> <p>【DP 3】 ○</p> <p>【DP 4】</p> <p>【DP 5】</p> <p>【DP 6】</p> <p>【DP 7】</p>
------	--

到達目標	<p>1. 小児各期の成長発達、および関連する理論について説明できる。</p> <p>2. 望ましい養育環境や子育て、子どもの成長発達を支援する関わりについて説明できる。</p> <p>3. 子どもと家族を取り巻く保健・医療・福祉の動向について理解できる。</p> <p>4. 子どもの権利について思考できる。</p> <p>5. 子どもと家族を総合的に理解し、小児看護の役割について説明できる。</p>
------	--

授業概要	<p>小児看護の歴史の変遷と専門性、わが国の母子保健と児童福祉施策や法律を学ぶ。また、子どもの成長発達や子どもの生活の特徴を学ぶ。子どもと家族の健康を支援する小児看護の役割と看護上の倫理を学ぶ。視聴覚教材を活用して子どもがイメージできるように工夫する。</p>
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：小児看護の特徴と理念 学習内容：・小児看護の対象 ・小児看護の目標と役割 ・小児医療・小児看護の変遷と課題 備考：大久保</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：子どもと家族を取り巻く社会環境 学習内容：・子どもと家族の諸統計 ・子どもと家族 備考：山田(恵)</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：子どもと家族に対する施策・法律 学習内容：・母子保健施策 (母子保健法、子育て支援、医療的ケア児支援法) ・小児に関する法律 (児童福祉法、医療費支援、小児特定慢性疾患、予防接種法、学校保健安全法、食育、臓器移植、子どもの貧困対策、成育基本法) 備考：大久保</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：子どもの権利と倫理 学習内容：・子どもの権利 ・プレパレーション、インフォームド・アセント ・小児看護と倫理 備考：大久保</p> <p>5-6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：子どもの成長発達 学習内容：・小児看護で用いられる理論 ・形態的成長・機能的発達</p>
------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・心理・社会的発達 ・成長発達の評価 備考：大久保 授業内容 授業形態：対面 学習課題：子どもの生活と基本的生活習慣 学習内容： <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの栄養と食事 ・子どもの排泄・睡眠・清潔・衣類と着脱 ・子どもに起きやすい事故の特徴と予防 備考：山田(恵)
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習：学習内容について、テキストの該当箇所を予習してから講義に出席する。 ・事後学習：乳幼児の成長発達に関する課題レポート作成を通して、子どもの成長発達を理解する。
評価方法、評価基準	筆記試験（100％）で評価する。
必携図書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕 医学書院
参考図書・資料等	授業開始時にハンドアウトの資料を配布する。参考資料は適宜提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	初回の講義ガイダンスで詳細について説明する。 20分以上の遅刻は欠席とする。2/3以上（6コマ以上）の出席がないと、成績評価の対象としない。
教員からのメッセージ	小児看護を実践する上で、健康な子どもの成長発達の理解は重要です。 街で見かける子どもたちに関心を向けたり、自分の子どもの頃を思い出して、子どもの気持ちに沿った看護ができるように学んでいきましょう。
オフィスアワー	